

風

宮田守男

厚生労働省が9月1日現在の全国の100歳以上の人が、前年より4644人増え9万9763人となったと公表。古代中国に生まれた思想家・哲学者の

孔子は、弟子たちがまとめた「論語」に「七十にして心の欲する所に従って矩を踰えず」の言葉を残した。70歳で自分の行動を完全にコントロールできるようになったという。凡人には到底及ばない人間の完成型とも言える境地だが、孔子は74歳で没し、今の人生100年時代のあるべき姿を示すことはできなかった。

今月、団塊世代にとって忘れられない青春をともした大歌手・橋幸夫さんが亡くなった。17歳のデビュー曲「潮来笠」が120万枚と大ヒット、吉永小百合さんとのデュエット曲「いつでも夢を」もミリオンセラーになり、日本レコード大賞を受賞。「霧水」で2度目のレコ大を受賞した。2020年ごろから日付が分からないほどの病状が出始めたが、中程度の認知症だと事務所が発表したのが今年5月。死ぬまで歌うとの信念を貫き、ステージで歌詞を間違えて飛ばしても全然あわてず「あ？わかんなくなっちゃった」といつて、客を笑わせる姿は「人生100年時代」の模範なのだろう。

高齢者の5人に1人は認知症患者といわれる時代。誰もが息子や娘を「おうちさま」と聞くと日が来るのだから、周囲を明るく輝かせる人生を歩みたいものだ。米国の詩人サミュエル・ウルマンの詩に「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う」の1節がある。だれもが生涯、青春を歩みたいものだ。

9月上旬、地区の道路・水路敷の草刈り作業に参加する。高齢化

や若者の流出で参加者が少なくなっていたことが課題だったが、地区への新規居住者が増加し始めているのか活気ある作業風景に安堵した。新たに地区住民になった方に話を聞くと「森上地区は、環境的に子育てに適している」との

声。観光資源に乏しい地区であるがための生活環境が逆に評価されている事がうれしくなる。

谷川俊太郎さんの詩「手と心」は「手に手を重ねる 手を膝に置く 手を肩にまわす 手で頬を撫でる 手と心

は仲がいい」と。地域活動の「手が足りない」と嘆く前に、多くの住民が「手を尽くして」地域を次の世代に

伝えると思っべきなのだろう。
(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)

霧降の宮・切久保諏訪神社例大祭に白馬インターナショナルスクール関係者が大勢参加し祭りを盛り上げる



霧降の宮・切久保諏訪神社例大祭に白馬インターナショナルスクール関係者が大勢参加し祭りを盛り上げる